

“塗り床”職人の矜持を胸に 最高の仕上がりを実現する



代表取締役 鈴木 努

主に塗り床工事を手掛けている『ティーエスエフ』。同社の鈴木社長はこの道約30年になるベテランで、その高い施工技術によって実現する確かな仕上がりから、多くの顧客が信頼を寄せている。本日はそんな社長のもとを、俳優の小倉一郎氏が訪問。仕事に懸ける想いについて伺った。

小倉 まずは、鈴木社長の歩みからお聞かせ下さい。

鈴木 静岡県の出身で、学生時代から働くことに強い興味を抱いていましたね。15歳のころに父が働いていた会社に入社したんです。その時に運命的な出会いがありました。

小倉 それは、どのようなもので？

鈴木 その会社の社長がとても素晴らしい方で、お会いして以来「この人になりたい！」という想いを抱くようになり、少しでも早く近づきたいと思い、寝る間も惜しんで技術の習得に励みました。そうして身に付けたのが現在当社が手掛けている“塗り床”の技術なんです。

小倉 塗り床……ですか？ はじめて耳

にする言葉ですね。

鈴木 下地のコンクリートなどに仕上材を直接塗って仕上げる工事を指します。薬品などに強く、つなぎ目がないため殺菌効果にも優れていて、あらゆる製造工場や研究所、公共施設など様々な場所で使われているんですよ。もちろん、ただ塗るだけではなく、いかに均等かつ綺麗にできるかが重要で、より高度な技が求められますね。そんな職人の世界で私は約30年間この道一筋に歩み、技術の研鑽に励んできましたので、塗り床のことなら負けない自信があります。

小倉 ご立派です。ちなみに、いつごろ独立を果たされたのでしょうか。

鈴木 23歳の時ですね。はじめは大変な思いもしましたが、それでもめげずに仕上がりにもこだわり続けて歩んで参りました。そうした姿勢が様々なお客様の評価につながり、今では多くの依頼をいただけています。ただ、施工に関しては信頼できるスタッフとの関係が最も大切でしょう。皆の頑張りがあるからこそできる仕事ですので、私を支えてくれているスタッフにはとても感謝しています。そんな皆の頑張りもあって、大手企業様のプロジェクトと呼ばれることも多いので、そうした機会をいた

だけていることには感謝しています。任されたからには、完璧な仕事を実現してみせる所存です。

小倉 スタッフさんとのつながりを重んじる姿勢とプロ意識が素晴らしいですね。最後になりますが、今後の展望についてお聞かせ下さい。

鈴木 人とのつながりを大切にすると共に、感謝の気持ちを忘れることなく歩んでいきたいと思っています。また、仕事については、今の自分の技術に胡座をかくことなく、さらなる鍛錬に励む所存です。これからも貪欲に攻めていこうと思います。そして、私が65歳を迎えた時、自分の軌跡をしっかり残せるような人間になりたいですね。

小倉 これからも、頑張ってください！

(2015年11月取材)



小倉 一郎

「今は第一線を右腕を担う方に譲りながらも、技術の研鑽に余念がない鈴木社長。その生き様はまさに昔ながらの日本の職人そのものですね。今後も同じスタンスで歩み続けていただけるよう、陰ながらではありますが応援させていただきます」といいます」

株式会社ティーエスエフ

神奈川県横浜市都筑区南山田町3963-4